第１９回　ＹＭＦＳセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖
帆走指示書（Ｓ．Ｉ）

１．適用規則

本大会は、2009～2012 セーリング競技規則（以下ＲＲＳと称する）及び同付則、日本セーリング連盟規程、シーホッパー級ＳＲ、ＦＪ級、及びミニホッパー級各クラス規則、大会レース公示及びこの帆走指示書（以下Ｓ．Ｉと記す）を適用します。但し各規則間で一致しない事項が生じた場合は、このＳ．Ｉを優先します。

２．競技者への通告

（１）競技者に対する通告は、大会本部の公式掲示板に提示します。この場合Ｌ旗を掲揚すると共に音響信号一声を発します。

（２）海上で競技者に対する通告は、スタート運営船にＬ旗を掲揚すると共に音響信号一声を発します。

３．帆走指示書の変更

レース公示及びＳ．Ｉに変更がある場合、当日の最初に行われるレース６０分前迄に、公式掲示板に公示されます。

４．陸上で発せられる信号

（１）陸上で発せられる信号は、大会本部前のポールに掲げられます。

（２）回答旗が音響信号２声と共に掲げられた時は「レースは延期されているので出艇してはいけません。新しい予告信号は、回答旗の降下後３０分以降に発せられます。（降下の時は、音響信号１声）

（３）クラス旗の上に回答旗が掲げられた時は、「そのクラスのみ延期されている」ことを意味します。

５.レースの日程

３月２４日（木）

９：００～１４：００	受付／計測
	海上練習（自主）
１５：００～１７：３０	勉強会（研修室１）

３月２５日（金）

７：３０～	受付／計測
９：００～	開会式／スキッパーズミーティング
１０：２５～	最初の（Ｒ１）予告信号予定時刻
	引き続きレース（Ｒ２）
１３：００～	（Ｒ３～Ｒ４）
１６：３０～１８：００	勉強会（研修室２）

３月２６日（土）

９：２５～	最初のクラスのＲ５レース予告信号予定時刻
	引き続きレース（Ｒ６～Ｒ８）
１６：３０～１８：００	勉強会（研修室２）

３月２７日（日）

９：００～	最初のクラスのＲ９レース予告信号予定時刻
	引き続きレース（Ｒ１０）
	(全１０レース予定)
１３：３０	閉会式（成績発表）

６．クラス旗

クラス	クラス旗
シーホッパー級ＳＲ	シーホッパー級ＳＲ旗
ＦＪ級	ＦＪ級旗
ミニホッパー級	ミニホッパー旗

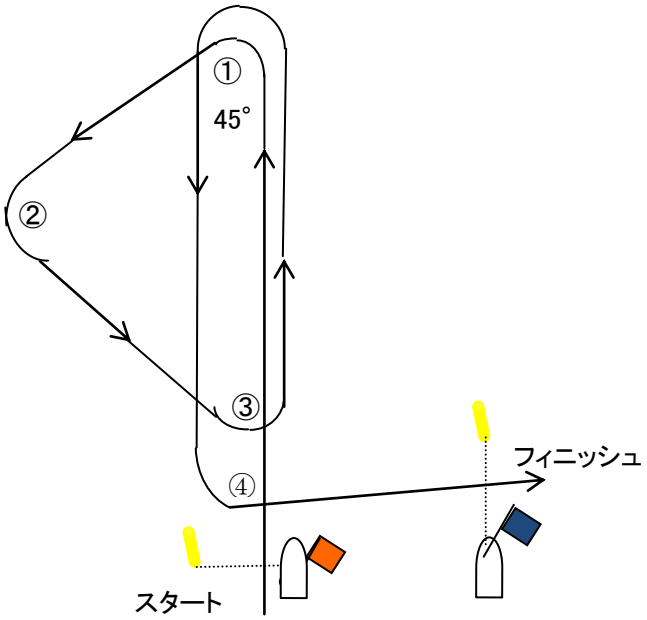
７．コース

全てのレースはトライアングルコース（三角）とし、回航又は通過すべきマークの順序と各マークの定められた側を下図に示します。④マークからフィニッシュへのコース角度は任意で設置する。

＜シーホッパー級ＳＲ・ＦＪ級のコース＞

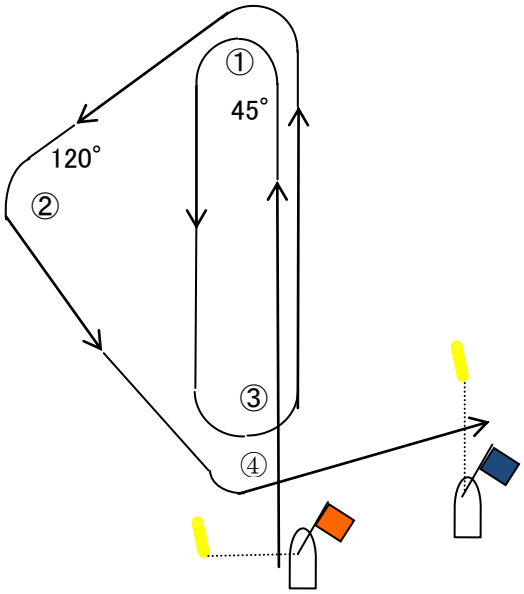
コース１（スタート５分前に数字旗１掲揚）

S→①→②→③→①→④→F

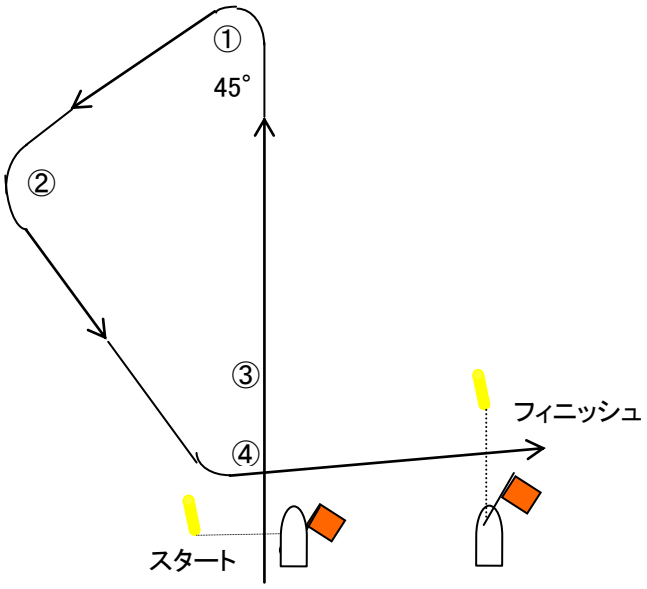


コース２（スタート５分前に数字旗２掲揚）

S→①→③→①→②→④→F



＜ミニホッパー級のコース＞　S→①→②→④→F



８．マーク

（１）マーク①②③は、オレンジ色の三角型ブイ、④は赤色の三角型ブイを使用します。

（２）スタートマーク及びフィニッシュのアウター側エンドのブイは、黄色の円柱型ブイを使用します。

（３）マークの紛失及び流出の時は、M旗を掲げたレース運営船を元の位置に設置します。

９．スタートの方法と信号

（１） スタート・ラインは、スタート運営船のオレンジ旗を掲げているポールと黄色の円柱型ブイの間とします。

（２） RRS26 の方式に従いスタートします。

時　間	信　号	旗	音響信号
スタート５分前	予告信号	クラス旗、コース旗を掲揚	１声
４分前	準備信号	Ｐ旗、又はＩ旗、又は黒色旗の掲揚	１声
１分前		準備信号、コース旗の降下	１声
０	ｽﾀｰﾄ信号	クラス旗の降下	１声

（３） スタート順はシーホッパー級ＳＲ、ＦＪ級、ミニホッパー級とする。但し、事情により変更する場合がある。その場合はスタート運営船にスタート順及びスタート間隔を掲示します。

（４） ミニホッパー級は、コースを示す数字旗を掲揚しません。

（５） スタート信号から４分を経過した後は、当該グループのスタート・ラインは消滅するので、それに該当するヨットはＤＮＳと記録されます。

（６） 最終日の１２時以降のスタートは行わない。

１０．スタートの延期

（１） スタートの時刻を延期する時は、スタート運営船に回答旗を掲げ長音２声を発生します。

（２） スタートを延期した次のスタートは、回答旗降下（長音１声）の１分後に予告信号が発せられます。

１１．リコール

（１） リコールの場合には、RRS29.１によりスタート運営船からＸ旗を掲げ長音１声を発します。

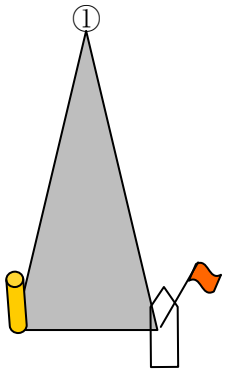
（２） リコールした全ての艇が正しくリコールを解消した時、またスタート信号後４分が経過した時のいずれか早いほうにＸ旗を降下します。

１２．ゼネラル・リコール

（１）　多数のヨットが早すぎるスタートをし、これを見分けることが出来ない時、RRS29. 2 により第１代表旗を掲げ長音２声を発声します。

（２）　「黒色旗規則」とは、スタート信号の１分前から下図の網掛け三角形の中にある艇を失格とすることを意味します。

（３）　RRS30.3 黒色旗規則が適用されたレースにおいてゼネラル・リコール信号が発せられた場合は、同黒色旗規則に違反した艇のセイル番号はスタート運営船の後部に掲示されます。掲示された艇はレースエリアから速やかに離れなければなりません。またレースが再スタート、再レースまたは予定変更となった場合もそのペナルティーを引き続き受けることとなります。（RRS30.3）



（４）　「黒色旗規則」に違反した艇は第１マークでレース海面から排除します。セイルナンバーを呼ばれた艇は、運営船の指示に従ってレース海面から離れて待機すること。

１３．スタート後のコースの変更

（１）　レース中におけるコース変更は、おこないません。
但しスタート後に大きく風向が変更した場合は、レースを中止し新たにスタートをおこないます。

１４．コースの短縮

（１）　レース中にコースを短縮する場合は、RRS32 によりレース運営船にＳ旗を掲げ音響信号２声を発声します。

（２）コース短縮の場合のフィニッシュ・ラインは、当該マークとＳ旗を掲げたレース運営船の S 旗を掲揚しているポールの間とします。

（３）クラス旗の上にＳ旗が掲げられた時は、「そのクラスのみ短縮されている」ことを意味します。

１５．フィニッシュ

（１）　フィニッシュ・ラインはレース運営船のブルー旗を掲揚しているポールと黄色の円柱型ブイとの間とします。帆走指示書１４．のコース短縮の場合は、その限りではありません。

（２）　先頭艇のフィニッシュ時には、音響信号１声を発声します。

１６．タイムリミット

タイムリミットはそのクラスの先頭艇がフィニッシュしてから１５分以内とします。タイムリミット内にフィニッシュできない艇は、ＤＮＦとして記録されます。

１７．得点

（１）　ＲＲＳ付則Ａの低得点方法を適用します。

（２）　本大会は１０回のレースを予定しますが、３回のレースが完了すれば大会が成立するものとします。５回以上レースが行われた場合、最も悪い成績の１レースをカットした合計で順位を決定します。

（３）　シリーズでのタイは、RRS A8 によってタイを解くこととします。

（４）　参加艇数とは、参加申し込みが認められたヨットの数とします。

１８．安全規程

（１）　レース中にリタイアするヨットは、運営船にリタイアすることを報告しなければなりません。そしてレース委員の指示に従ってください。

（２）　帰港後は、大会本部にリタイアしたことを報告しなければなりません。

（３）　ヨットの乗員は、離岸から着岸までライフジャケットを着用しなければなりません。但し、衣服の着脱に携わる短時間の場合はこれを除きます。

（４）　ヨットが転覆しても艇から離れないようにつかまっていること。救助を求めるときは手のひらを広げて大きく振りなさい。

（５）　安全のためレース委員会の判断で、レースの途中で強制的にリタイアさせる場合があります。

１９．失格に代わるペナルティーとオンザ・ウォータージャッジ・システム

（１）第２章の規則違反に対するペナルティーの履行はRRS44.1、44.2(２回転のペナルティー)を適用します。

（２）付則Ｐ－規則４２（推進方法）に対する特別な処置を適用します。

２０．抗議と救済の要求

（１）　抗議する艇はできるだけ相手艇に「プロテスト（抗議）」と声を掛け、抗議する意思を伝えること。フィニッシュ時にレース運営船に報告し、相手艇のセイルナンバーを報告すること。

（２）　抗議する艇は大会本部で入手できる用紙に記入の上、その日の最終レース終了後６０分以内に提出しなければならない。但し、プロテスト委員会の裁定により締切時間を延長させることもあります。

（３）　プロテスト委員会は受付順に審問を行うものとします。競技者への審問の時間・場所の通知は公式掲示板に提示されます。

２１．申告

（１）　各レース出場者はハーバーからレース海面へ向かう前に大会本部受付にある出艇申告書に署名し、出艇申告を行わなければなりません。

（２）　出艇申告の受付時間は、その日の最初の予告信号時刻の４０分前から受け付けます。

（３）　レースが終了しハーバーに着いたら大会本部受付にある帰着申告書に署名し、当該クラスのレース終了後、６０分以内に帰着申告を行わなければなりません。

（４）　この出艇・帰着申告は自分自身で行い、他人に頼んだりしてはいけません。

２２．貸与された艇の破損及び改装

（１）　艇、セイル、その他艤装品の破損を理由とする再レースまたはレースの中止の要求は認めません。

（２）　貸与艇に穴を開けたり、改装してはいけません。

（３）　艤装品は貸与を受けた状態にして返却して下さい。

（４）　貸与艇を破損した時または備品を紛失した時は、実費を請求します。

（５）　貸与艇及びセイル、艤装品の性能の違いついてはレース委員会は、その責任を負いません。

（６）　貸与された艇は、最終日の最終レース終了後にチャーター艇の返却を行なってください。

２３．本大会の特別規定

（１）　本大会は艇体の計測後に、レース期間中に任意に計測することがあります。

（２）　シーホッパー級ＳＲは、アンカー、アンカーラインおよびパドルを搭載しなければならない。

（３）　ＦＪ級は、アンカー、アンカーラインを搭載しなければならない。

（４）　係留ロープ（直径 6mm 以上、5m 以上）はバウプレートに一端を固縛していなければなりません。
チャーター艇にバウロープが取り付けていない場合もあるので各自取り付けることとします。

（５）　本大会ではミニホッパー級のセイルについては純正品か否かは問いません。但し、クラスマークとセイルナンバーがセイルの所定位置に付いていること。

（６）　本大会のミニホッパー級のブームバングは、他のブームバングに変更しても良い。但し、ブームバングのロープの構成は最大２本までとする。また、ブームバングのテイクル数は最大１／８までとする。

（７）　レース委員会から要請にあった上位艇は、ハンディーＧＰＳを搭載しなければなりません。
その搭載による選手から、救済の要求はできません。

２４．レースエリア

レースエリアは「三ケ日青年の家」沖とします。

２５．賞

（１）下記のクラスの上位選手に賞を授与します。

・シーホッパー級ＳＲ（総合）　１位～６位
・シーホッパー級ＳＲ（女子）　１位～３位
・ＦＪ級　（総合）　１位～３位
・ＦＪ級　（女子）　１位
・ミニホッパー級　（総合）　１位～３位
（小学生の部）１位
（女子の部）　１位

※当該クラスの参加隻数が３０隻以上の場合は、総合成績の６位まで授与します。

（２）クラブ対抗の上位チームには、特別賞を授与します。

①同じクラブの各クラスの上位の成績を合計し、最も得点の少ないクラブに賞を授与します。

②全てのクラスに参加しないクラブに対しては、参加しないクラスの参加隻数の 1/2 の得点を与え総合得点を算出します。

２６．支援艇

（１）　支援艇を使用するクラブは、大会が始まる前に受け付けを受けなければならない。

（２）　支援艇は予告信号後にレースエリアに入ることを禁止します。但し、緊急事態等で救助の要請を受けた場合はこの限りではない。

（３）　支援艇は出艇・帰着の際に大会本部へ申告しなければならない。

（４）　支援艇は大会期間中、運営委員会の指示に従って決められた場所に保管しなければならない。

２７．運営船

（１）運営船に識別旗を掲揚する場合は、公式掲示板に大会当日に掲示します。

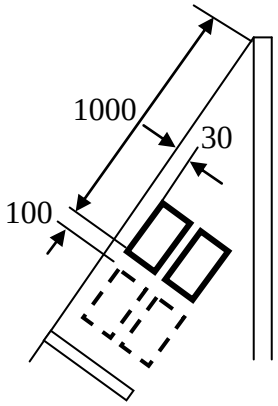
２８．リコールナンバー

（１）参加する同じクラスの隻数が多い場合、リコールナンバーを大会本部で配布する場合がある。

（２）リコールナンバーを下図のように貼付しなければならない。

リコールナンバーはスターボードサイドを上に貼付すること。

（３）リコールナンバーが配布されたクラスは、レース委員会が通告する全ての事項を、リコールナンバーで通知されます。



(注) 貼付位置を示す数値の若干の誤差は許される。

２９．ペナント

（１）その日の最初のレース前までに、総合１位～３位のチーム及び選手は、１位（黄色)、2 位（赤色)、3 位（青色）のペナントを陸上本部で配布します。

配布された艇は、セイルにそのペナントを貼付して、レースに出場しなければなりません。

（３） このペナントは、２６日、２７日の最初のレースが始まる前までに配布されます。

３０．ゴミの処理

艇は、ごみを水中に捨ててはいけません。ごみは、支援艇およびレース運営船に渡してもいいです。